

## カリフォルニアの風（6月30日号）

### 「集中学習」

おかげをもちまして、集中学習期間が終了いたしました。

6月の授業日は12日に及び、また平日も含みましたところ、お子さんの送迎、お弁当の支度はもとより、お当番にも献身的にご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。この紙面をお借りして、集中学習中の様子を簡単にお知らせいたします。詳しい様子は、ホームページにて、各校より紹介させていただきます。

サンフランシスコ校は、幼小部・中高部を同じ場所にしたことにより、昼休み、中高部の図書委員会のメンバーが幼小部を訪れ、「折り紙」を一緒に折る活動や、幼小部児童会と中高部生徒会との合同企画「じゃんけん列車」を行うなど、これまでの異学年の枠から、部を超えた交流へと進化する活動になりました。中高生が小学生に折り方を丁寧に分かりやすく教えるお兄さんお姉さんの姿は、日ごろの授業で見られる様子とは異なる「よさ」が発揮され、じゃんけん列車は最後、幼児から高校生までが連なり、大きな輪を作っていました。輪はサンフランシスコ校の「和」を象徴しているかのようでした。

サンノゼ校も、幼小部、中高部それぞれ、異学年交流を行っていました。中高部では生徒会が仲間との「絆」を強くすることを目的に、「スピリットウィーク」と称した企画をしていました。その一つが「T シャツ」コンテスト。クラスの代表T シャツを着た仲間が、さながらファッションショーのモデルさんのように振る舞う姿に、観客となった子どもたちがどっとほめそやす声が、中高部の校舎の中に「一体感」を生み出していました。幼小部は、休み時間になると、子どもたち全員がヤードに集まってきます。その場所で、ボールや大縄などの道具一つで、異学年でも、「なかよし」が生まれていました。その無邪気な姿を見ていると、「たからもの」がいっぱい、「わあい、うれしいな」と思うことが、いっぱい、ありました。

先生たちも頑張っていました。

子どもたちが「補習校は楽しい」と実感できるよう、様々工夫をしてくださいました。それだけでなく、「授業をより良くしよう」と、授業の在り方を進んで研究し、指導を仰ぎ、実践してくださいました。それを参観した先生たちは、授業の「よさ」に触発され、「今度は自分が」と「やる気」になっています。「うれしいな」と思っています。

お家の人たちにも、いっぱい、協力していただきました。

IT 関係のトラブルに対して即座に対応できるよう、職員室に常駐していただきました。また、登校時に子どもたちを車から降ろすお手伝い、本の貸し出し、放課後のお預かりなど、いっぱい、ご協力いただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

明日から、しばらくお休みとなります。お子さんにとって、体験が「いっぱい」できるお休みになりますように。